

無線機能でドライバーと事務所の
コミュニケーション向上を狙う



トランスストロン

富士通グループのトランストロン（加藤祐三社長、横浜市港北区）は、ネットワーク型デジタルタコグラフィ専用のクラウドサービス「ITP-WebService」の新たなオプションとして、デジタコに通話機能を備えた「音声通話オプション」を提供している。新機能の追加により、ドライバーと事務所のコミュニケーション向上を狙う。「デジタコと無線を組み合わせられないか」とのト

デジタコに無線機能 留守番電話も備える

トラック事業者の要望により開発を始めた。デジタコにはハンドセットを設置し、事務所のパソコンには市販のマイクとスピーカーを取り付けて使用する。ドライバーは通話ボタンを押すだけで簡単に操作でき、FOMA網を利用してそのため全国でサービスを受けられるのが特長。1か月の通話時間を限定することで値段も低く抑えた。

また、留守電機能もあるため、離席中の場合でも後で確認が可能。聞き逃しも防止する。発売前にはトライアル期間を設けてユーザーからの評価も得た。情報機器事業推進部の酒井健二氏は「ネットワークで繋がっている車載機だからこそできるサービスがたくさんある。集約すればユーザーにメリットはある」と話し、今後、操作がしやすく、実用的でローコストなオプションを追加していく考え。

（土屋 太郎）